

# 最近の本学の取組等について

**2020.2 ~ 2020.5**

## 学内行事

1. 2019年度学位記授与式【中止】
2. 2020年度入学式【中止】
3. 2020年度WEBオープンキャンパス【Webで開催】

## 受章

4. 令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰について
5. 第73回中日文化賞を受賞
6. 2020年春の叙勲について

## 学生

7. 2020年IEEE名古屋支部国際会議研究発表賞 受賞
8. 2019年度日本建築学会東海支部学生優秀学術講演賞 受賞

## 新聞報道等

9. 本学に係る最近の新聞報道について

# 3. 2020年度WEBオープンキャンパス

※2020年度については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、インターネットを介した志願者向けのイベントを開催。

参加希望者がWEB上で事前申込を行うと、大学、学科の説明資料をダウンロードできる特設サイトのURLが送付される。

対象：名古屋工業大学に少しでも興味のある  
中高生および保護者

内容：大学、学科の説明資料の掲載、就職・学生支援説明動画の掲載、写真コーナー、生協の店舗紹介、在学生の一日紹介コーナー など



国立大学法人  
**名古屋工業大学** 2020年6月  
**WEB オープンキャンパス**  
開催決定!!

名古屋工業大学では例年6月上旬にオープンキャンパスを開催しておりましたが、  
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、  
今年度はインターネットを介した志願者向けのイベントを開催します。  
参加申込をしていただいた方には、大学、学科の説明資料を  
ダウンロードできる特設サイトのURLをお伝えします！  
本学に少しでも興味・関心のある方は、奮ってご参加ください！

**日程**

申込期間:5月11日(月)12:00~6月18日(木)24:00  
イベントサイト閲覧期間:6月5日(金)~6月19日(金)

注:6月5日(金)以降に申し込みをされた方は、サイトURL通知メールの送付が、申込受理後個別のご対応となり、遅れることがあります。なるべく6月4日(木)までに申し込みを完了させていただきますようお願いいたします。

**内容**

大学、学科の説明資料の掲載、就職・学生支援説明動画の掲載、写真コーナー、  
生協の店舗紹介、在学生の一日紹介コーナー など

**金額**

参加費:無料 (パソコンもしくはスマートフォン、メールアドレス、インターネット接続環境は必要となります)

**参加方法**

申込期間内に右記QRコードまたは下記urlから申込フォームにアクセス  
→ アンケートに回答、メールアドレスを入力。申込完了。  
→ 6月5日(金)にイベントサイトURLが記載されたメールが届きます。  
→ イベントサイト閲覧期間内にサイトを閲覧。

申込フォームURL <https://daigakuic.jp/c.php?u=00022&l=02&c=00107>



●問い合わせ先:名古屋工業大学入試課 TEL:052-735-5082 e-mail:nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp

## 4. 令和2年度科学技術分野の 文部科学大臣表彰について

受賞者：平田 晃正 教授、小寺 紗千子 特任助教

受賞名：科学技術賞(理解増進部門)

受賞の対象：個人に応じたリスク管理に基づく熱中症予防普及啓発

### 【受賞の内容】

・この表彰は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とするもの。

・科学技術賞(理解増進部門)：青少年をはじめ広く国民の科学技術に関する関心及び理解の増進等に寄与し、又は地域において科学技術に関する知識の普及啓発等に寄与する活動を行った者が対象。

応募件数18件、授賞件数9件(28名)。

## 5. 第73回中日文化賞を受賞

受賞者 : 神取 秀樹 教授 (接着・接合研究所)

受賞名 : 第73回中日文化賞

受賞対象: ロドプシンの研究

### 【受賞の内容】

・同賞は、中日新聞社が「学術、芸術、文学、宗教その他一般にすぐれた文化的業績を顕した個人または団体に贈る」賞。同賞は日本国憲法の施行を記念し1947年に制定、翌年に第1回贈呈式を行って以来、2019年までに364人と10団体を顕彰している。

・今回、生命・応用化学専攻の神取秀樹教授が第73回中日文化賞を「光遺伝学ツールであるロドプシンの研究」で受賞することになり、5月3日付中日新聞朝刊紙上で発表された。神取教授のライフワークであるロドプシンの研究が評価されての受賞。

## 6. 2020年春の叙勲について

### 【紫綬褒章】

受章者：徳田 恵一教授

功労概要：音声情報学研究功績

受賞の内容：紫綬褒章は、科学技術分野における発明・発見や、学術及びスポーツ・芸術文化分野における優れた業績を挙げた方に対して授与されます。

### 業績の概要：

音声合成の問題に関し、統一的な統計モデルに基づいた新しいアプローチを提唱し、任意の話者の声質、発話スタイル、感情表現等を自在に生成可能であることを示した。音声波形の切り貼りによる従来法では容易ではなかった問題を解決しただけでなく、統一的な統計モデルに基づいて音声を合成するという新しい概念を当該研究分野に広く普及させ、さらにはひとつの研究分野として定着させるなど、関連分野の発展に多大な貢献をした。

受章者のコメント：期せずして紫綬褒章という栄誉ある褒章をいただき、大変光栄に思います。評価いただいた統計的音声合成を初めて提案したのは1995年頃です。

長きに渡り、ご指導・ご支援・ご協力いただいた指導者・研究者の皆様、研究に参加してくれた多くの学生の皆さんのお陰と心より感謝しています。今後は、自身の研究のみならず、研究分野全体の発展や研究成果の社会還元にも微力ながら貢献できればと考えています。



## 【瑞宝中綬章】

受章者：垣田 宏治名誉教授、結城 康夫名誉教授

功劳概要：教育研究功劳

<参考> 勲章別受章者数内訳（カッコ内の数字は、女性の受章者数で内数。）

	旭日章	瑞宝章	合計
大綬章	6 (2)	1 (0)	7 (2)
重光章	8 (0)	30 (0)	38 (0)
中綬章	64 (1)	284 (3)	348 (4)
小綬章	261 (8)	692 (8)	953(16)
双光章	499(30)	1,027 (126)	1,526 (156)
単光章	174 (14)	1,135 (220)	1,309(234)
合計	1,012 (55)	3,169 (357)	4,181 (412)

内閣府HPより抜粋

# 7. 2020年IEEE名古屋支部国際会議 研究発表賞 受賞

学生

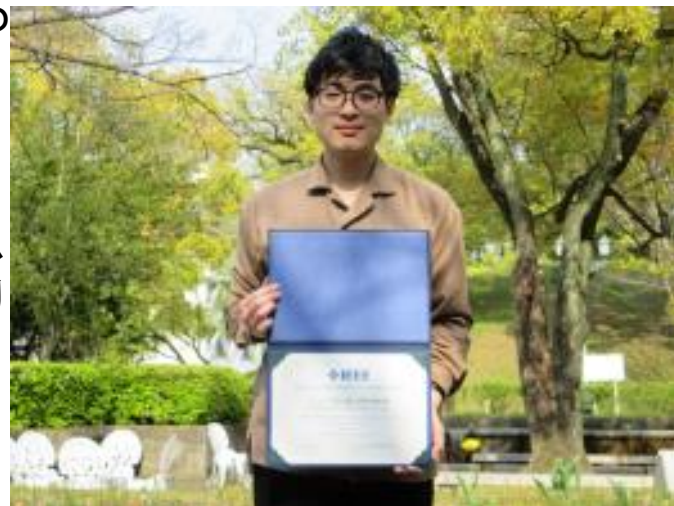
受賞者 : 電気・機械工学専攻 (岡本英二研究室)・塩満 優作

受賞名 : 2020年IEEE名古屋支部国際会議研究発表賞

## 【受賞の内容】

・「Effective Frame Configuration of 5G URLLC Using Open-Loop HARQ for Autonomous Driving」

2020年夏頃に実用化されるレベル3自動運転のような高度自動運転を支えるものは、周囲の状況を瞬時に把握するための周辺車両および路側機との低遅延高品質無線通信だが、無線通信は伝搬路の変動が大きく、時々伝送誤りが生じてしまう。受信側でデータが誤ったときは再度の信号送信をリクエストする再送要求が行われるが、伝送完了までの遅延時間が増加してしまうという課題があった。塩満氏は企業との共同研究により、第5世代移動通信システム(5G)のフレーム構成において、再送が起きても最も遅延時間を低減できる効率的フレーム構成を構築した。これにより、5G自動運転に適した、より低遅延・高品質な伝送が可能となる。





## 8. 2019年度日本建築学会東海支部学生優秀学術講演賞 受賞

受賞者 : 社会工学専攻 (河辺伸二研究室、伊藤洋介研究室)  
井上 裕太

受賞名 : 2019年度日本建築学会東海支部学生優秀学術講演賞

### 【受賞の内容】

- ・『電気炉酸化スラグを用いたウェッジ型モルタルの高さと含水量が電波吸収性能に及ぼす影響』

電波吸収性能を持つ電気炉酸化スラグを混入したモルタルで作製したウェッジ型電波吸収体の高さと含水状態を変化させたときの電波吸収量を測定しました。

従来の発熱モルタルブロックより製造精度の誤差や環境変化に影響されにくい発熱モルタルブロックを開発しました。



## 9. 本学に係る最近の新聞報道について

### ○名工大 木下新学長の就任について

2020年4月3日（金）の中日新聞において、4月1日付で木下隆利新学長が就任したことが紹介された。

### ○各種メカトロ機器の効率化を目指して

2020年4月10日（金）の中部経済新聞において、本学の関 健太准教授が研究を行っている、各種メカトロニクス機器の性能向上に向けた基盤技術の創成の研究結果が紹介された。

### ○名工大発ベンチャー 音声合成ソフトの無償提供

2020年4月11日（土）の中日新聞において、新型コロナウイルスの感染拡大の中、授業のオンライン化を検討している大学から問い合わせが相次いだことから、名古屋工業大学発ベンチャー「テクノスピーチ」が、文章を音声に変えるソフトウェアを9月末まで、全国の大学や小中高校に無償提供することが紹介された。

## ○第一三共、三菱UFJキャピタルとの視覚再生のための遺伝子薬研究開始

2020年4月15日（水）の中日新聞において、本学の神取秀樹教授の研究成果をもとに、第一三共・三菱UFJキャピタル・名古屋工業大学が、視覚再生のための遺伝子治療薬に関するオープンイノベーション研究を共同で開始されたことが紹介された。

## ○女性研究者の育成へ名工大が新たな制度

2020年4月15日（水）の中日新聞において、大学院修士（博士前期）課程修了見込みの女性らを任期5年の「スタートアップ助教」として採用し、在職のまま大学院で博士号取得を目指してもらおう、本学の女性研究者育成のための制度が創設されたことが紹介された。

## ○名工大発ベンチャー 自動運転に関する試験・認証機関設立

2020年4月21日（火）の中日新聞において、自動車の自動運転に欠かせない高速通信技術に関する国際規格の試験・認証機関（現在ドイツ・米国のみ）を、名工大発ベンチャーとして2023年春までに設立されることが紹介された。

## ○碧海信用金庫、名工大と連携して地元企業支援

2020年4月23日（木）の日刊工業新聞において、碧海信用金庫と本学が連携して次世代自動車やポスト自動車に取り組む地元企業への支援の一環として「自動車プラスワン」を支援、新技術開発や新分野参入を検討する取引先とのマッチングを行っていることが紹介された。

## ○ゴミにならないポリマー材料の開発

2020年5月13日（水）の中部経済新聞において、本学の林 幹大助教の、石油資源の枯渇問題・廃棄物削減を目指した、ゴミにならないポリマー材料の開発について紹介された。

## ○名工大 新型コロナウイルスによる困窮学生への支援について

2020年5月16日（土）の中日新聞において、本学が新型コロナウイルスの影響で生活に困窮している大学院生（自宅外通学）に5万円を給付することが紹介された。

## ○鉄鋼環境基金の2020年度「環境助成研究成果表彰」

2020年5月29日（金）の鉄鋼新聞において、本学の伊藤洋介准教授が、「電気炉酸化スラグを骨材としたモルタルの電波吸収性能の向上」で、技術委員長賞を受賞したことが紹介された。